Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

平成 29 年 5 月 26 日 松山河川国道事務所調査第一課

「第10回広瀬霞自然観察会」を実施します

~広瀬霞自然再生事業のモニタリング~

松山市森松地区(重信川河口から約10km左岸)において、広瀬霞の湿地再生事業完了後、約9年が経過しました。その状況を関係者が確認する第10回広瀬霞自然観察会を開催します。

松山市森松地区において、広瀬霞の湿地再生事業が平成20年2月に完成し、9年が経過しています。池(湿地)の周りには植物も回復し、魚類・底生動物等の生物も数多く帰って来ています。また、その反面、オオカワヂシャ、ブルーギル、オオクチバス、ウシガエルなどの特定外来種も確認されるとともに、ツルヨシ・オランダガラシの繁茂、水質・流入ゴミなどの新たな課題も出てきました。

これらの状況を「地元関係者」、「重信川の自然をはぐくむ会(※)」等が確認する 第10回広瀬霞自然観察会を行い、その後、参加者による広瀬霞の保全活動を行います。

●日時 : 平成29年 6月2日(金)9時~11時30分(小雨決行)

●場所 : 松山市森松町地先 (別紙―1の地図参照)

●講師 : ・松山東雲女子大学 石川和男 名誉教授

· 愛媛大学理工学研究科 三宅 洋 准教授

※重信川の自然を取り戻そうと地域の大学、学生、NPO、行政の協力・連携を図るため平成15年1月に設立された団体。

※ 詳細については当事務所HP (http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/)をご覧下さい。 本施策は、四国圏広域地方計画「NO.1 人と文化を育む産学官連携プロジェクト」の取り 組みに該当します。

問い合わせ先:四国地方整備局松山河川国道事務所調査第一課

副所長(河川):松下 越夫 (内線:204)

◎ 調査第一課長 : 山崎 元司 (内線:351)

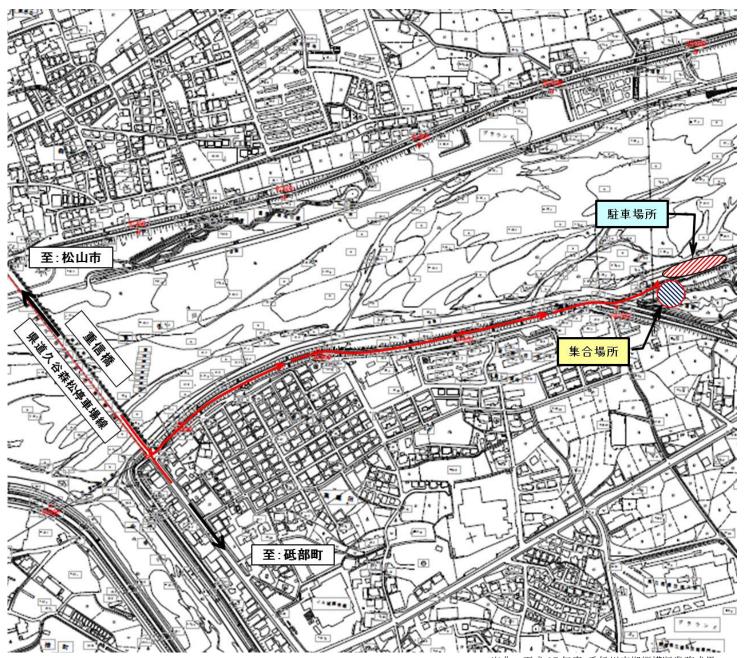
代表 089-972-0034

直通 089-972-0612

FAX 089-972-6612

◎:主な問い合わせ先

別紙-1



出典:平成27年度 重信川定期縦横断業務成果



開催場所

広瀬霞自然再生事業

広瀬霞は、かつては湿地的な環境で、周辺は樹林に覆われていました。しかし、昭和 40 年頃より霞堤内は盛り土により湿地環境が喪失し、セイタカアワダチソウなどの外来植物が繁茂していました。また水質の悪化、ゴミの不法投棄の増加等により、かつての自然豊かな面影は見られなくなっていました。

そこで、失われた湿地環境の再生と治水機能の保全を図ることを目的とし、広瀬霞の湿地再生事業を平成 18 年 10 月に着手し、平成 20 年 2 月に完成しました。



第10回広瀬霞自然観察会

H29.6.2 9:00 \sim 11:30

会 次 第

- · 開 会
- 開会あいさつ
- ・帰ってきた動植物、外来生物のはなし
- 鳥類・植物等の観察会
- ・魚類調査 (特定外来種:ブラックバス、ブルーギル)
- ・除草・清掃 (ツルヨシやオランダガラシ等の除去含む)
- 記念撮影
- 閉会あいさつ
- 閉 会

◆昨年度実施状況写真



開会状況(矢田部会長)



魚類等生物調査状況



植物等の観察会(松井名誉教授)



清掃状況